

東北広域次世代がんプロ養成プラン

周術期口腔支持療法歯科衛生研修コース（がん口腔ケア特別研修コース）

募集要項

口は、食べる・話す・笑うといった人間生活に必須の役割を担い、口腔機能を可能な限り高く維持することは、周術期や入院加療中、さらには緩和ケアを受けている患者さんの生活の質を維持し、人としての尊厳を保つために極めて重要である。特に、頭頸部領域や上部消化管・呼吸器の外科処置時、放射線治療時や薬物療法、更に造血幹細胞移植時などの口腔管理は、入院期間の短縮や不快症状を軽減し、闘病生活を支える上でも極めて重要である。しかしながら、がん治療中に実施する周術期等口腔管理・ケアは、様々な専門的知識が要求される。東北大学大学院歯学研究科では、最前線に立つ東北大学病院スタッフから周術期の口腔に関わる最新の知見と臨床現場での対応に関するご講義をいただきます。

目 標

- ・がん治療医療機関や急性期・慢性期の医科治療実施患者の周術期口腔管理、および、訪問診療時の有病者口腔管理を適確に実施する口腔支持療法を実践する歯科衛生士
- ・有病患者の多職種連携によるチーム医療に参加し、口腔管理を病態に応じて適確に実施し、地域で患者を受け入れることのできる歯科衛生士

受講期間：2025年8月～2026年2月

受講料：無 料

受講対象者：歯科衛生士、歯科医師、受講を希望する歯科医療関係者

受講内容：東北大学大学院歯学研究科修士課程選択科目「がん口腔ケア特別研修」の科目[※]
¹について、オンラインで8時間、自己学習で22時間、合計30時間以上を履修し、試験に合格すること。また、がんプロ主催の講義^{※2}を受講可能。

《オンライン講義予定者》 各1時間程度

※実施日等については、申込後にお知らせいたします。

- | | |
|------------------|--------------------|
| ・肺がん診療の最前線 | 宮内 栄作先生（呼吸器内科） |
| ・がん薬物療法の副作用 | 谷口 桜先生（腫瘍内科） |
| ・乳がんの最近の話題 | 宮下 穰先生（総合外科） |
| ・頭頸部がん治療の現在 | 大越 明先生（耳鼻咽喉・頭頸部外科） |
| ・歯科領域の放射線治療 | 神宮 啓一先生（放射線治療科） |
| ・がん患者の栄養療法 | 石井 亮先生（管理栄養室） |
| ・PTCyによる同種移植の最前線 | 小野寺 晃一先生（血液内科） |
| ・がん患者の高血圧 | 菊地 晃一先生（腎臓・高血圧内科） |

※1：東北大学大学院歯学研究科修士課程選択科目 「がん口腔ケア特別研修」

基本的な口腔管理の知識・態度・技能を有する歯科衛生士、および、歯科医療関係者に対して、口腔支持療法を実施する際の様々な課題を取り上げ、即戦力として日々の臨床に取り組める知識と技能を解説する。特に、多様な病態をみせる様々ながん患者へ対応するために、医科診療科の治療担当医師から、最新の医科治療の動に直結する口腔管理に関する情報をご講義いただき、相互の議論から適確な口腔支持療法を実施する技能を身に付ける。

※2：がんプロ主催の講義（次世代腫瘍予防学特論ほか）、セミナー

応募期間：2025年8月20日（水）

応募方法：以下 URL または QR コードより申込

申し込みフォーム <https://forms.gle/xKbct8yMGveueRLTA>



※フォームから申し込みが困難な方は、以下の内容を東北大学歯学研究科教務係（den-kyom@grp.tohoku.ac.jp）にご連絡ください。

学内者：氏名、所属、連絡先メールアドレス

学外者：履歴書（書式自由）、免許証等の専門性を証明するもの、連絡先メールアドレス

詳細については、下記へお問い合わせください。
東北大学歯学研究科予防歯科学分野（口腔支持療法科）
メールアドレス：yobou@grp.tohoku.ac.jp